

2023年12月期 第2四半期決算説明資料

STOCK CODE : 3695

GMO RESEARCH

代表取締役社長 細川 慎一
取締役グローバルCFO 森 勇憲

2023年8月3日

目次

1. 結論と要約

2. 事業の概況

Appendix

1. 結論と要約

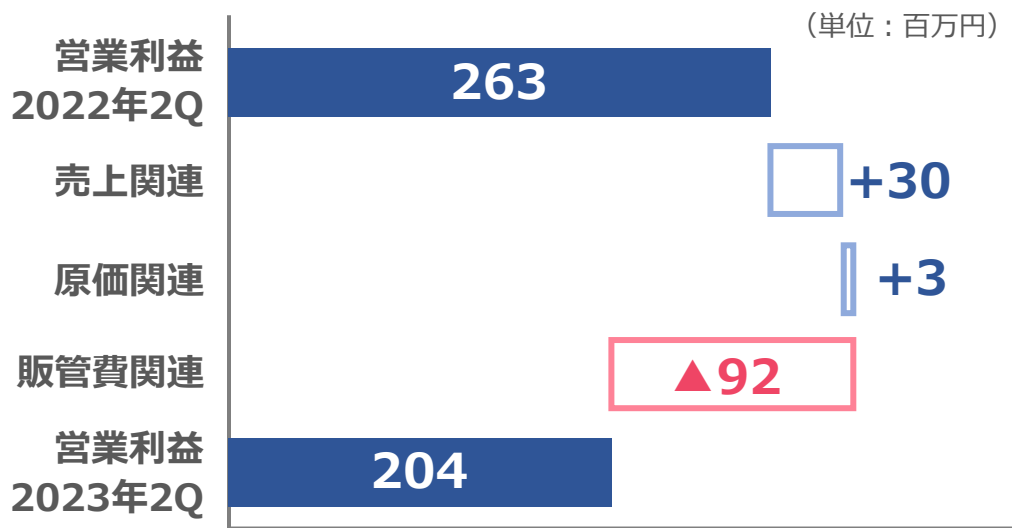
結論と要約 | 決算サマリー

- 売上高は前年同期比+1.2%。上半期の成長率は弱含み、下半期は回復見通し。
- 営業利益前年同期比▲22.4%。業務の生産性向上を継続推進し、通期予想は変更なし。

(単位：百万円)	2022 (1-6月)	2023 (1-6月)	増減額	増減率
売上高	2,551	2,581	+30	+1.2%
売上総利益	1,205	1,238	+33	+2.8%
営業利益	263	204	▲58	▲22.4%
経常利益	326	220	▲105	▲32.4%
最終利益	246	154	▲91	▲37.1%

結論と要約 | 営業利益推移

- 営業利益は前年同期比▲58百万円
- 粗利は前年同期比+33百万円増（+2.8%）、粗利率向上約0.7 pt。
- D.I.Yサービス強化のための販管費が先行増加

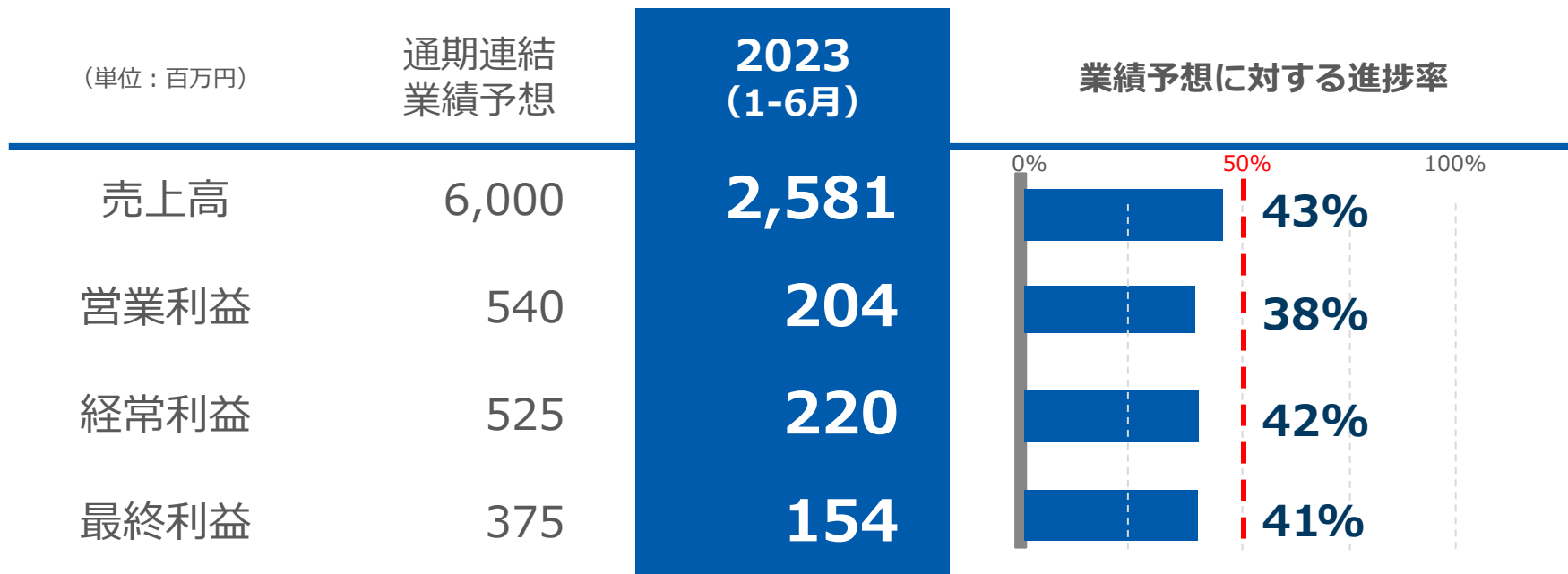


主な増減要因

- ・ 売上関連
原価率の高い案件受託を絞り、売上増は限定的。
- ・ 原価関連
原価率の高い案件受託を絞り、粗利率が増加（約0.7pt改善）。
- ・ 販管費関連
人件費等の増加（プラットフォームチームの人員体制強化）

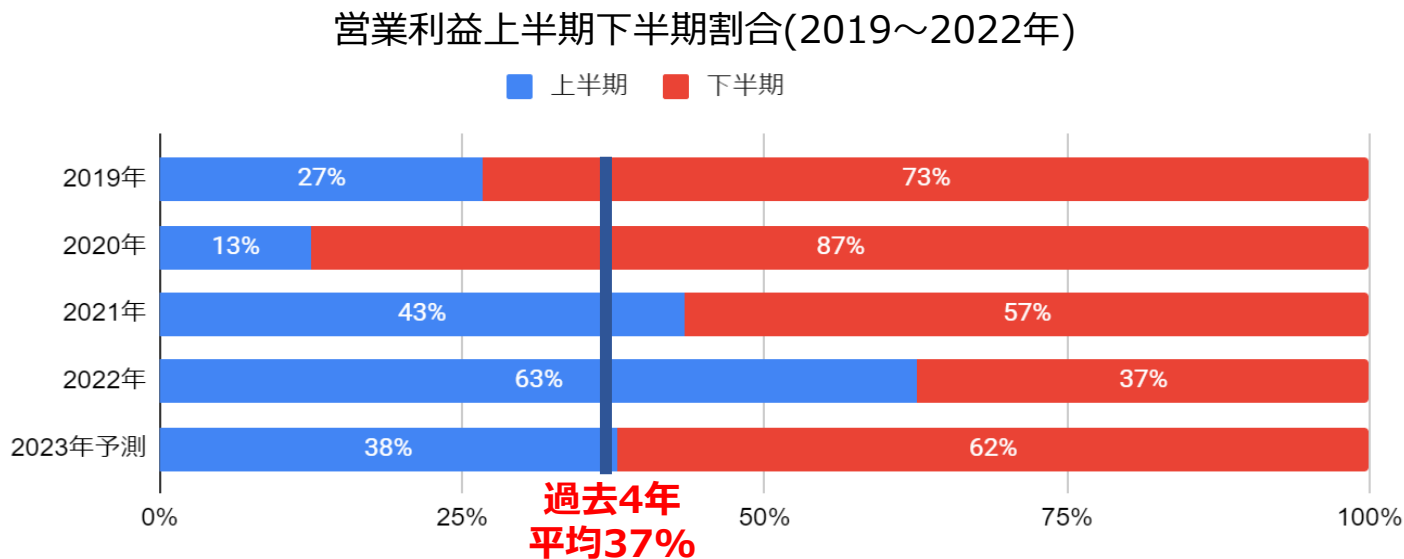
結論と要約 | 連結業績予想に対する進捗(1/2)

- 連結業績予想に対し、売上高および各段階利益ともに4割程度の進捗だが、下半期偏重のため見通し据え置き。



結論と要約 | 連結業績予想に対する進捗(2/2)

- 2023年度予想の営業利益上半期下半期の割合は、過去4年間の平均に相当しており、業績予想に対する上半期進捗は適正。



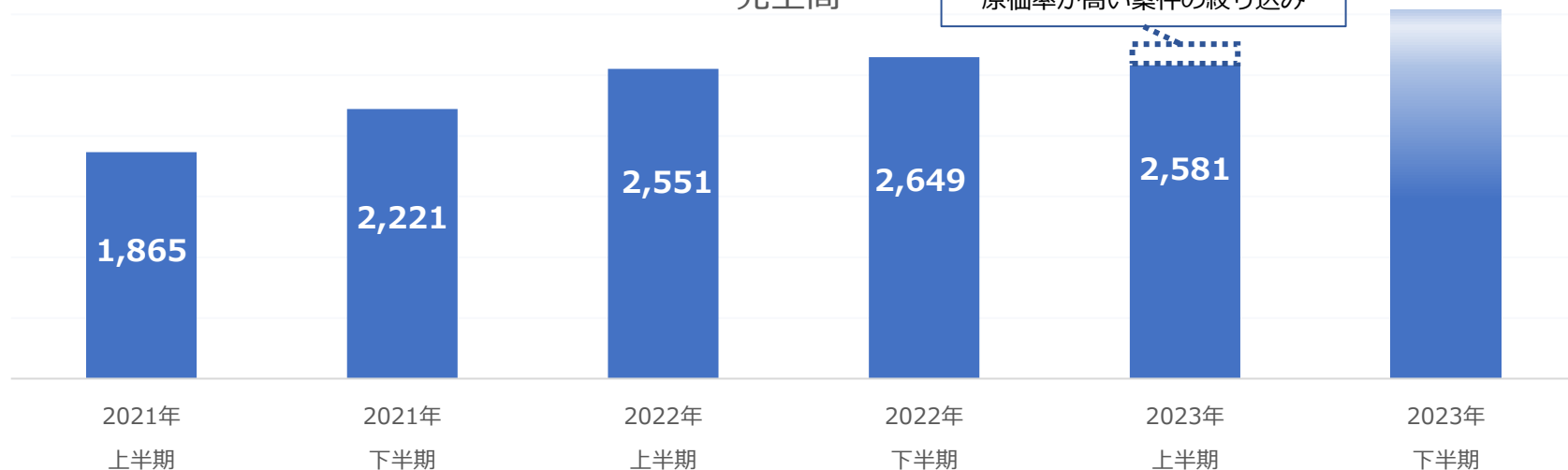
結論と要約 | 売上高の半期毎の推移

- 上半期は、市況による毎年実施調査の期ずれや発注控え（約50百万円）、原価率が高い案件の絞り込みによる減（約50百万円）。
- 下半期は期ずれ分含め成長率回復見通し。

(単位：百万円)

売上高

下半期への期ずれや発注控えと原価率が高い案件の絞り込み

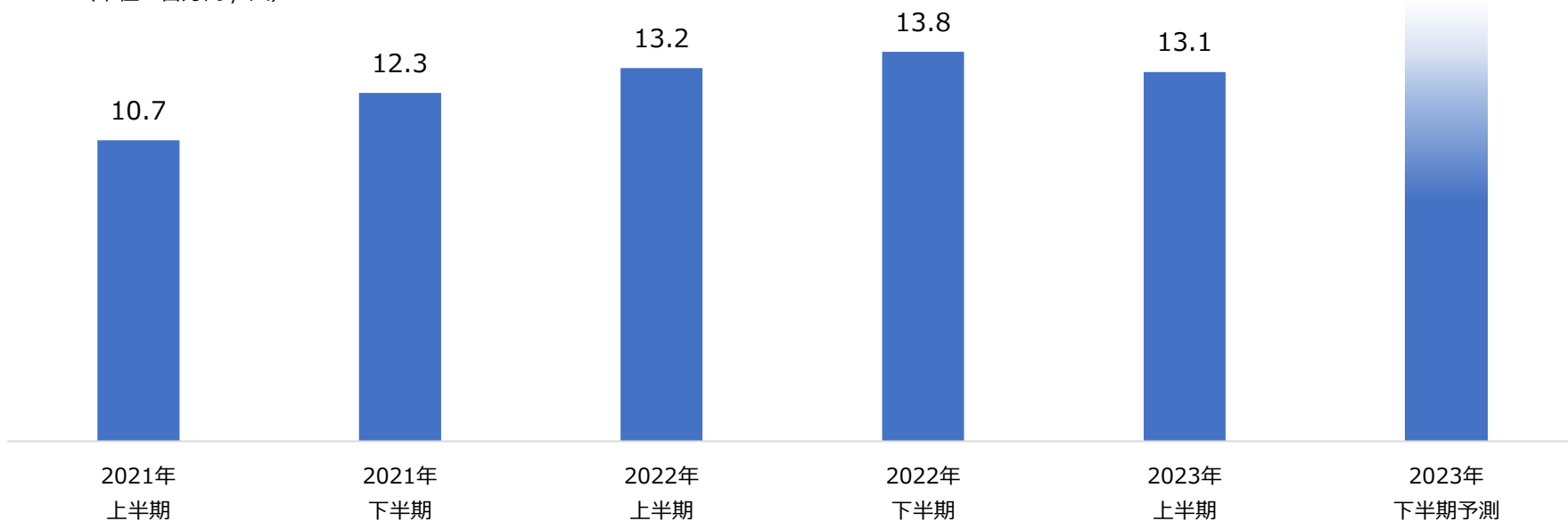


結論と要約 | 下半期以降に向けた改善活動

■ これまで通りAI・RPA等による生産性改善は進捗。ただし一時的な市況や絞り込みで、上半期は一時的に一人あたり売上高が低下。下半期以降は向上トレンドに戻る見通し。

(単位：百万円 / 人)

■ 一人あたり売上高

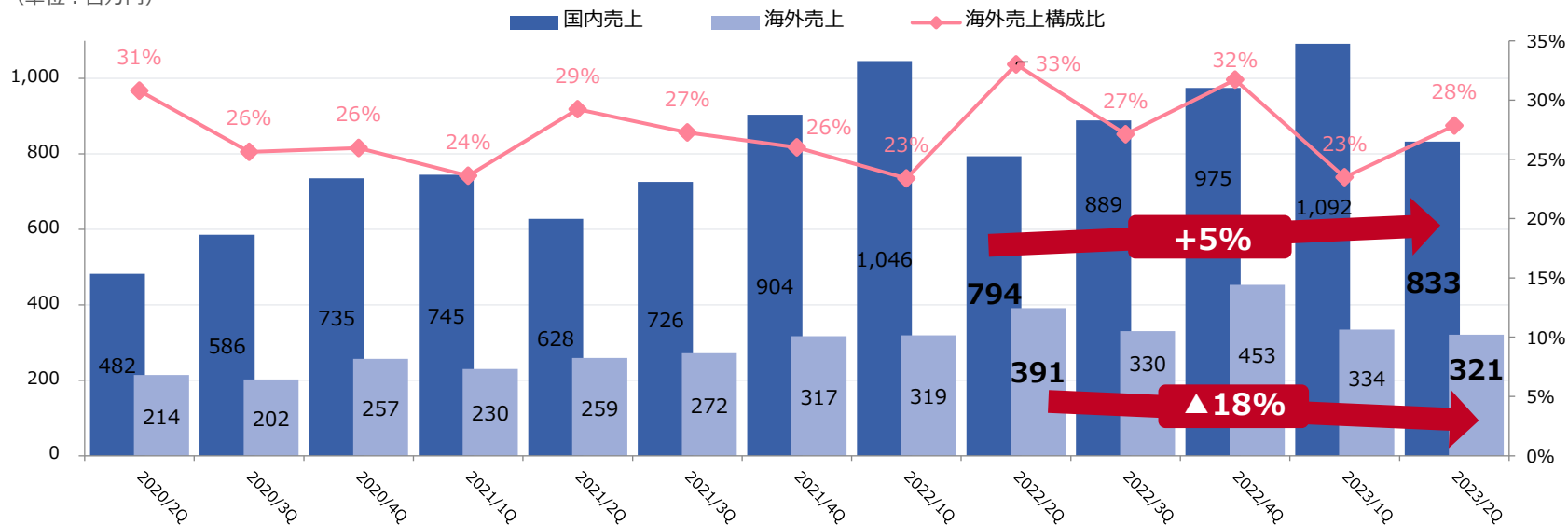


2. 事業の概況

事業の概況 | 国内・海外売上高推移

- 国内は、前2Q比+5%(+39百万円)。市況による毎年実施調査約50百万円の期ずれや発注控え。
- 海外は、前2Q比▲18%(▲69百万円)。高原価率案件の絞り込み約50百万円。

(単位：百万円)



事業の概況 | 国内・海外売上高推移（海外地域別）

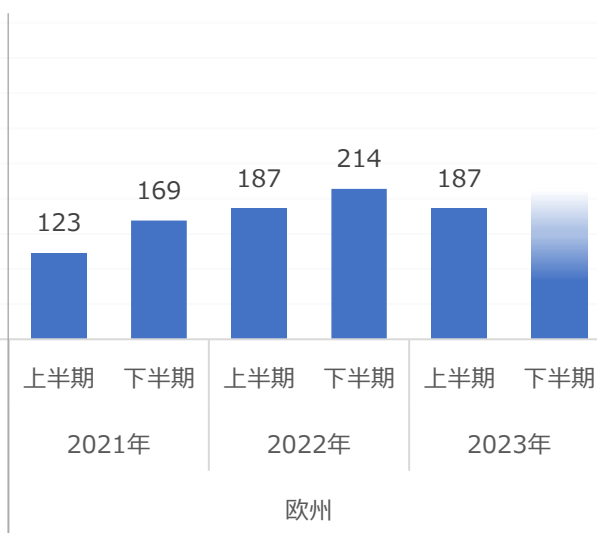
北米

上半期は前年同期並み、下半期はインフレと先行きの不安による買い控えの影響により、保守的に想定。



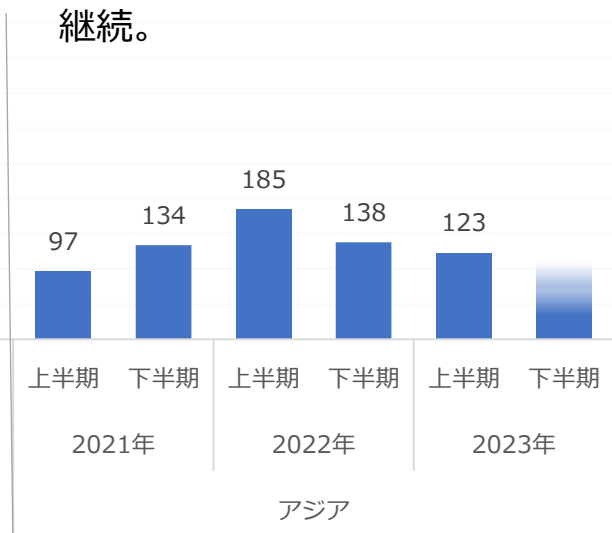
欧州

上半期は前年同期並み、下半期も前年同期並みを想定。



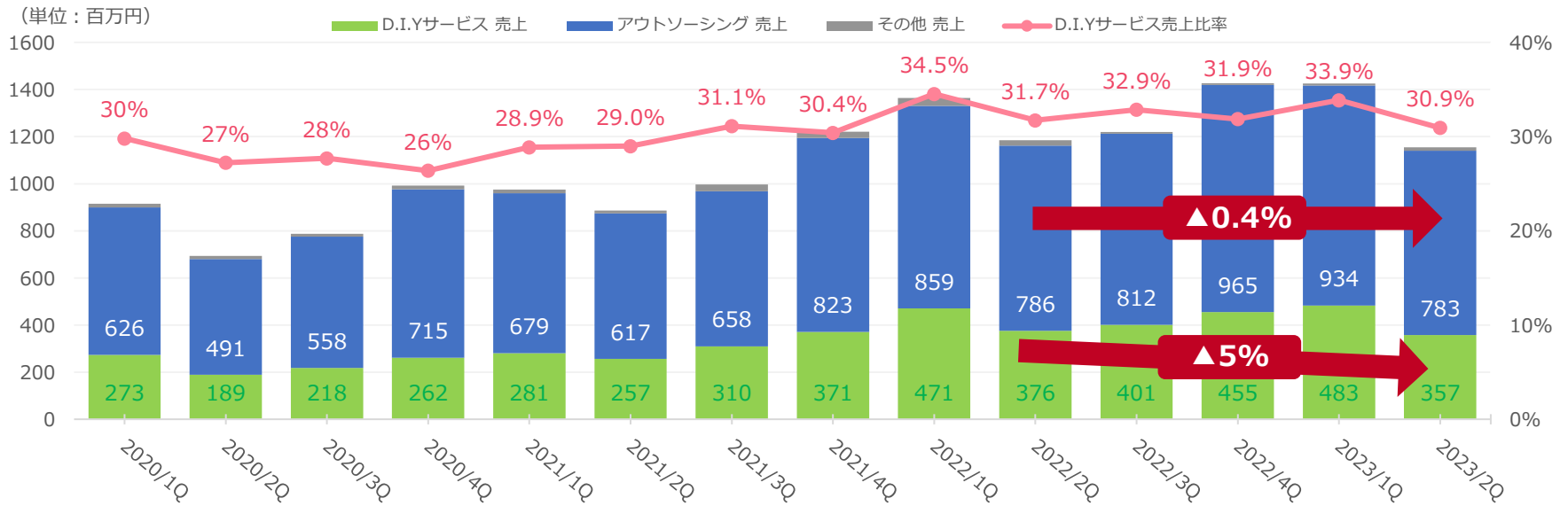
アジア

上半期は中国・インドの原価率が高い案件の絞り込みによる減（約50百万円）、下半期も上半期と同様に絞り込みを継続。



事業の概況 | サービス別売上高推移

- アウトソーシング対前2Q▲0.4%(▲2百万円)
- D.I.Yサービス対前2Q▲5%(▲18百万円)
- D.I.Yサービスの売上高構成比は30.9%に (前2Q比▲0.8pt)



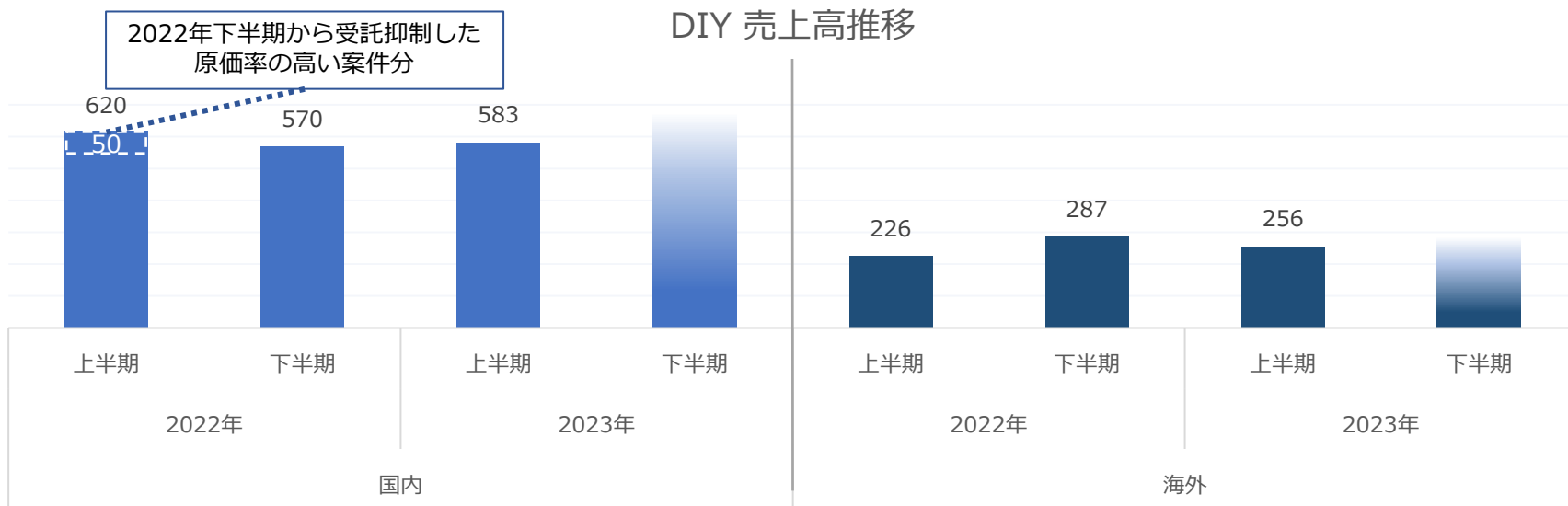
事業の概況 | サービス別売上高推移 (DIY)

国内

前年下半期から実施している原価率の高い案件受託抑制のため、前年同期比減。前年同期の当該案件約50百万円分を除くと成長率+3%。下半期は、成長想定。

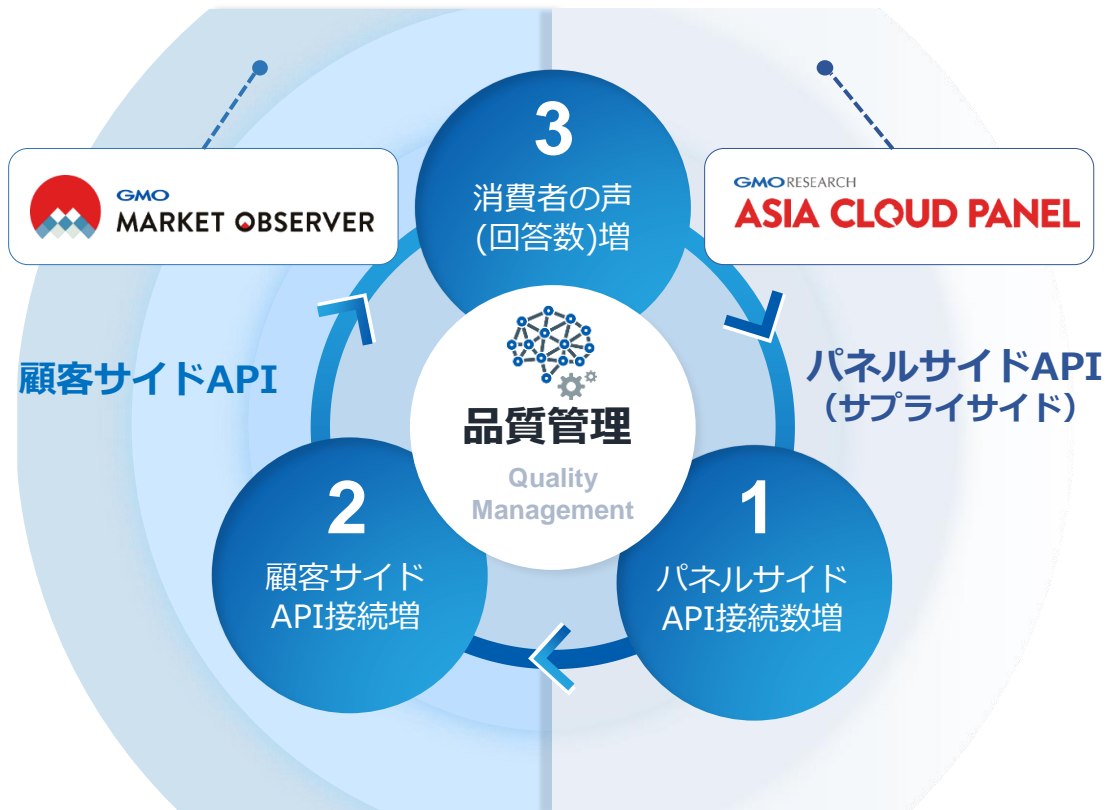
海外

上半期は前年同期比13%増だが、下半期は欧米のインフレと先行きの不安による買い控えの不透明感の影響を勘案し保守的に想定。



事業の概況 | Audience Engagement Platform

Audience Engagement Platform



事業の概況 | ①パネルサイドAPI接続数

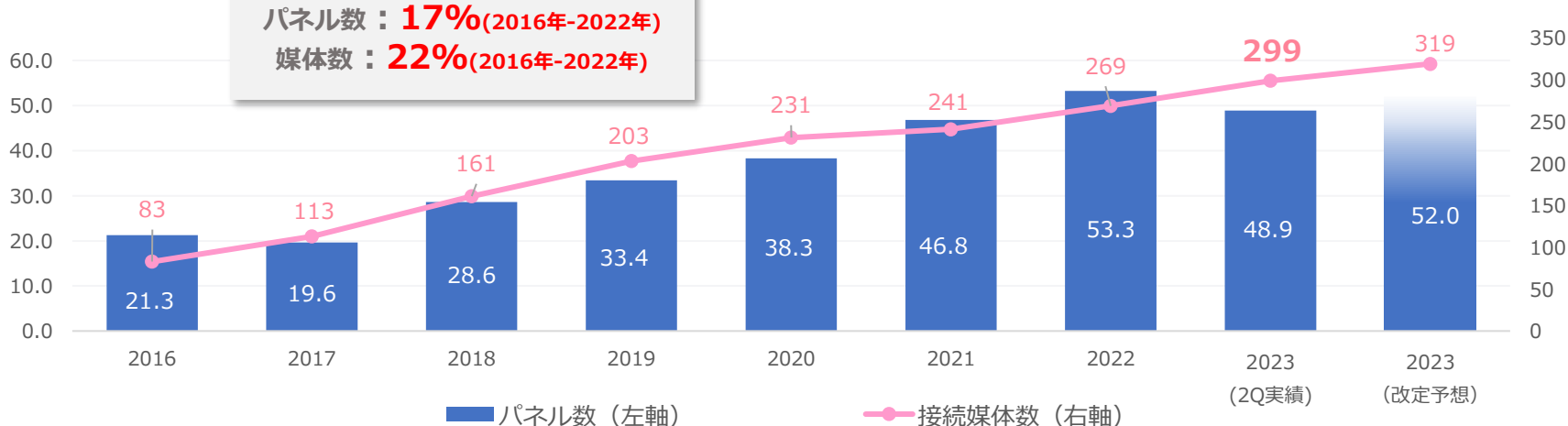
- アジアクラウドパネルは、品質管理基準の見直しにより約6百万人減となり、それを除くと約1.5百万人増。これにともない、期末予想も変更。
- API接続媒体数は299へ増加。

GMO RESEARCH

ASIA CLOUD PANEL

(パネル数：百万人)

(接続媒体数)



*期初予想は58百万人

事業の概況 | ②顧客サイドAPI接続数

- アジアクラウドパネルへ接続している顧客数(*1)は順調に増加。
D.I.Yサービス売上高は原価率改善のための案件受託減等による進捗遅れを下期リカバリ。
(*1) アジアクラウドパネルへAPI接続している顧客及び当社Market Observerを利用する顧客 (過去1年以内に発注実績があること)

D.I.Y売上高
(単位:百万円)

平均成長率(CAGR)
売上高: **27%**(2014年-2022年)
接続顧客数: **29%**(2014年-2022年)



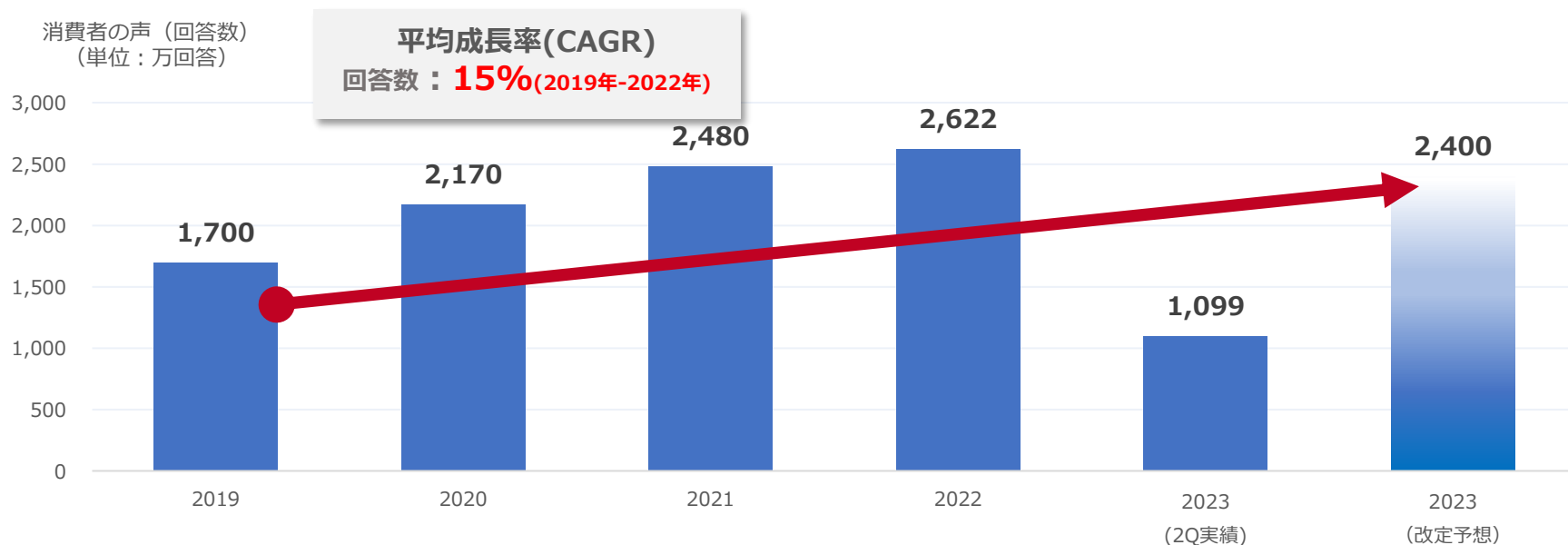
GMO
MARKET OBSERVER

(単位:社数)



事業の概況 | ③消費者の声（回答数）

- 世界の企業に届けた消費者の声（回答数）は、案件構成の変化、すなわち希少価値の高い消費者の声を集める案件の増加により、回答数の伸びが抑えられた一方、販売単価は上昇。今後もこの傾向は継続想定につき、期末予想を改定。



*期初予想は2,800万回答

直近の主なリリース

日付	タイトル	URL
2022/11/7	通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20221104556835_P01_.pdf
2022/11/8	監査役の逝去及び退任に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20221107558129_P01_.pdf
2022/11/25	海外旅行に関する意識調査をアジア10カ国・地域で実施 ～行きたい国1位は日本、今後の経済効果に期待～	https://gmo-research.jp/pressroom/survey/voluntary-survey-20221125
2022/12/12	一時監査役選任の申し立てに関するお知らせ（一時監査役候補者決定）	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20221211577112_P01_.pdf
2023/1/16	本部長職・部長職の異動に関するお知らせ	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20230116589822_P01_.pdf
2023/1/26	海外旅行に関する意識調査 <第2弾> を欧米・オセアニアで実施 ～APACにおける海外旅行の意向と結果に大きな差～	https://gmo-research.jp/pressroom/survey/voluntary-survey-20230126
2023/2/21	事業計画及び成長可能性に関する説明資料	https://gmo-research.jp/ir/upload_file/tdnrelease/3695_20230220515204_P01_.pdf
2023/4/25	完全DIY型アンケートプラットフォーム「GMO Ask」サービス開始後、約半年で「ITreview Grid Award 2023 Spring」の「アンケート作成」部門『High Performer』賞を受賞	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230425
2023/5/23	GMOリサーチ、スマホゲームアプリの オンラインユーザーテストツール提供のPlaytestCloud GmbHと連携 ～「ASIA Cloud Panel」でスマホアプリのオンラインユーザーテストが可能に～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230523
2023/6/6	完全DIY型アンケートプラットフォーム「GMO Ask」、「ChatGPT API」を利用した「AI Report機能（β版）」を提供開始 ～AIテクノロジーを活用し、ユーザーの調査業務を効率化～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230606
2023/6/15	完全DIY型アンケートプラットフォーム「GMO Ask」に AI活用機能「調査票AIサポート（β版）」を搭載～「ChatGPT API」利用で業務効率化と調査クオリティの向上を両立～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230615
2023/6/22	GMOリサーチ、NRIシンガポールと共同で自主調査「ASEANアバンライブ調査 2023年」を実施～「働く」・「暮らす」・「楽しむ」における消費者意識が明らかに～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230622
2023/6/30	GMOリサーチ、クチコママーケティングプラットフォーム「トラミー」運営の株式会社アイズと業務提携～サービス相互提供により新たなお客様のニーズに対応～	https://gmo-research.jp/pressroom/press-release/press-release-20230630

Appendix

- 2023年2Q 連結損益計算書・連結貸借対照表
- 2023年事業戦略
- フィロソフィー
- ビジネスモデル
- サービス別販売先・サービス内容
- アウトソーシングサービスとD.I.Y.サービス
- パネルネットワーク
- 各拠点人員数推移

2023年2Q | 連結損益計算書

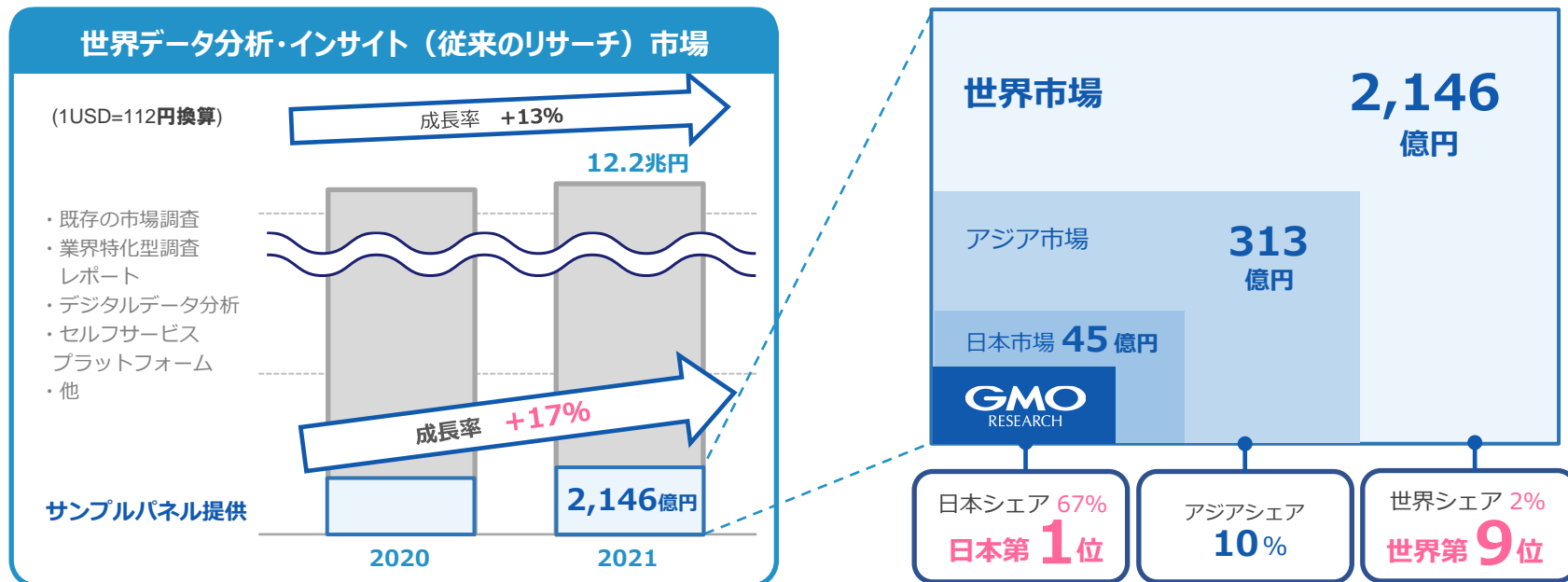
(単位：百万円)	2022年 1-6月	2023年 1-6月	前年同期比
売上高	2,551	2,581	101.2%
売上原価	1,345	1,343	99.8%
売上総利益	1,205	1,238	102.8%
(売上総利益率)	47.3%	48.0%	+0.7pt
販売費及び一般管理費	942	1,034	109.8%
(販管费率)	36.9%	40.1%	+3.1pt
営業利益	263	204	77.6%
(営業利益率)	10.3%	7.9%	▲2.4pt
経常利益	326	220	67.6%
当期純利益	246	154	62.9%

2023年2Q | 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2022年12月末	2023年6月末	前期末比
流動資産	2,595	2,391	92.1%
現金及び現金同等物	1,167	1,259	107.9%
固定資産	476	484	101.7%
資産合計	3,072	2,875	93.6%
流動負債	1,148	956	83.3%
固定負債	14	16	113.5%
負債合計	1,163	973	83.6%
純資産	1,908	1,902	99.7%
(純資産比率)	62.1%	66.2%	+4.0pt

2023年事業戦略 | 世界リサーチ市場

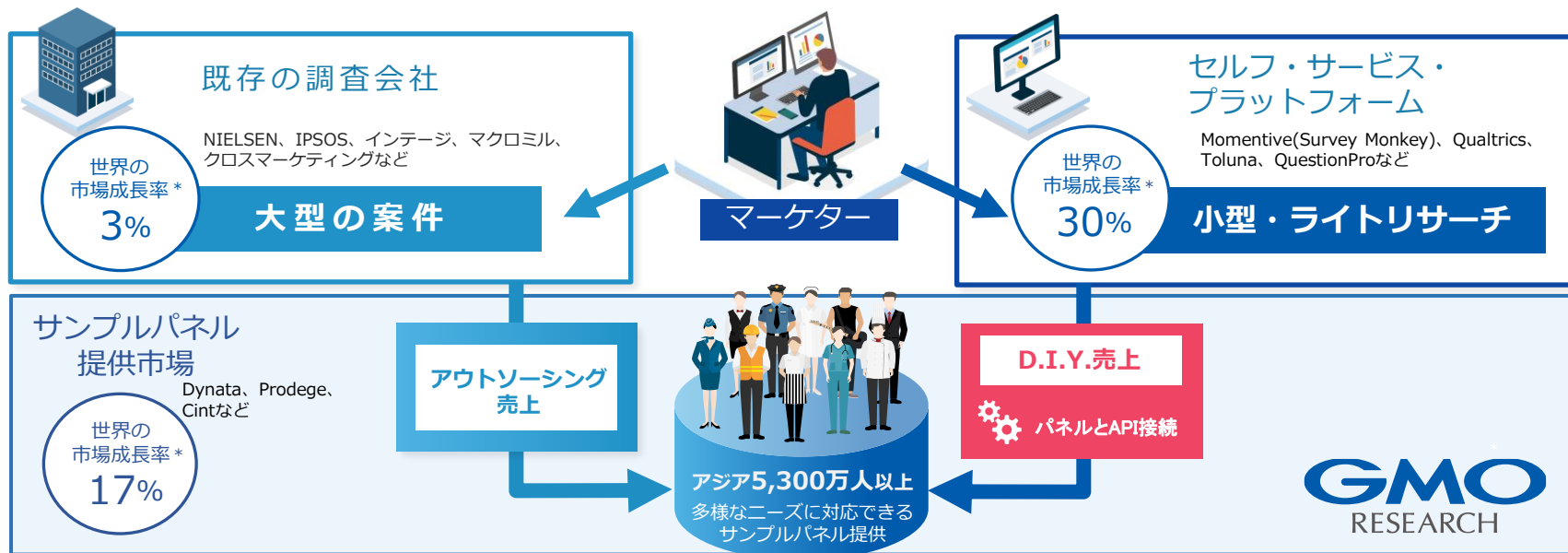
- 世界リサーチ市場において、**成長率17%**のサンプルパネル提供市場に注力
- 同市場におけるシェアは、**日本67%(1位)**、アジア10%、**世界2%(9位)**



出展：ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2024, JMRA第47回経營業務実態調査, 当社有価証券報告書

2023年事業戦略 | サンプルパネル提供市場の環境

- 既存の調査会社のオンラインパネル運用管理は引き続きアウトソーシング継続で、サンプルパネルの規模拡大とニーズ多様化への対応が進捗
- 小型・ライトリサーチ需要が増加し、手軽なセルフ・サービス・プラットフォーム活用が拡大
- ライトリサーチ・プラットフォームはサンプルパネル提供会社とAPIで連携推進



*成長率は、2020年と2021年の市場規模比較により算出しています。

出展：ESOMAR, Evolution of the Data, Analytics and Insights Industry, A forecast into 2024

2023年事業戦略 | D.I.Yサービス売上のストック性

- D.I.Yサービスを利用する顧客の継続率は高く、1社あたり売上高も経過とともに増加する傾向があります。

	D.I.Yサービス	アウトソーシングサービス
顧客継続率* ₁	94%	50%
1社あたり平均売上高* ₂	1,417万円	551万円

*1：顧客が次年度にリピート発注する割合の平均値（2019年以降）

*2：1社あたり年間売上高の平均値（2019年以降）

2023年事業戦略 | 業界トップクラスの収益力

- プラットフォーム提供事業は一般的マーケティングリサーチサービス提供会社(*1)とは業態が違い、収益力(一人あたり売上高)が高く、スケールメリットが出やすい業態です。直近3年は年10%の収益力向上を実現しており、今後も継続向上予定です。

一人あたり売上高 (*2)(*3)



(*1) 日本国内で上場するマーケティングリサーチサービスの提供会社
M社: 株式会社マクロミル
I社: 株式会社インテージホールディングス
C社: 株式会社クロス・マーケティンググループ
N社: 株式会社ネオマーケティング

(*2) 比較対象会社の財務数値につきましては、各社が公表している有価証券報告書・四半期報告書に記載の数値によっております。

(*3) 一人あたり売上算出において、従来は、従業員数および臨時従業員数の合計人数を使用して計算しておりましたが、従業員数のみに変更しました。

Appendix | フィロソフィー

想いを、世界に GMOリサーチ

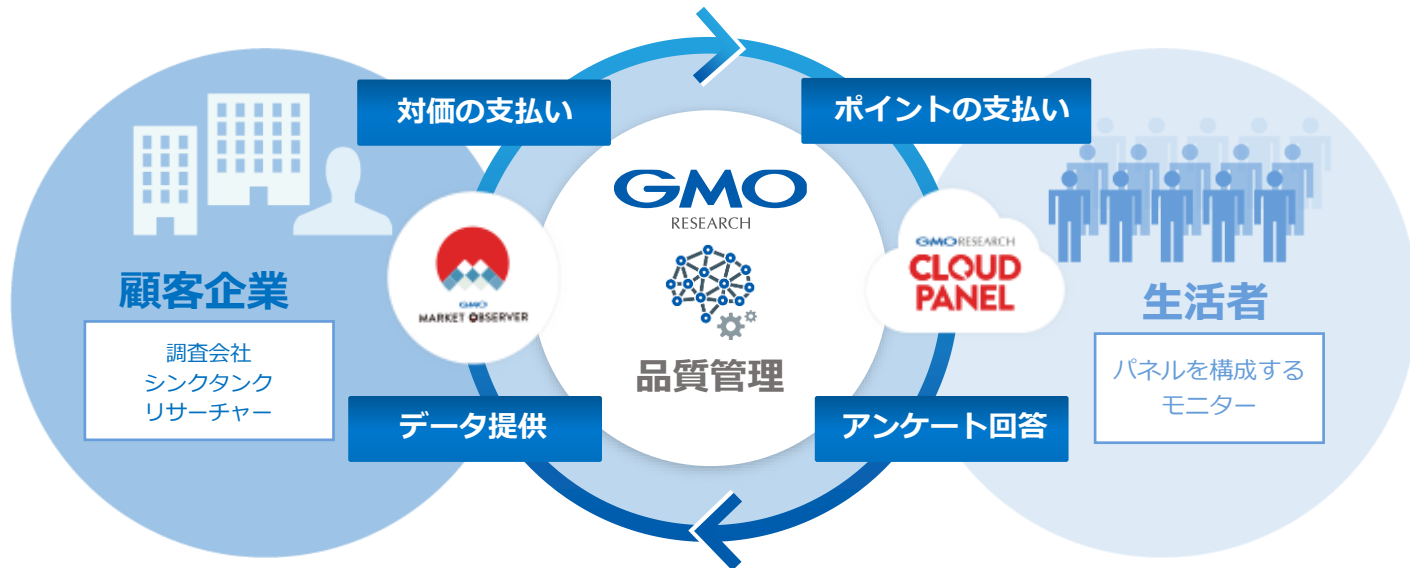
～私たちは、生活者と企業の「思い」に向き合い
わくわくするアイデアやテクノロジーで「世界」につなぎ、
笑顔・感動の創造に貢献する～

Appendix | ビジネスモデル

- アンケート調査を行う顧客企業とアンケート調査に回答するモニターを繋げるプラットフォームをアジア全域に展開

Audience Engagement Platform

消費者の声を企業に届けるプラットフォーム



Appendix | サービス別販売先・サービス内容

サービスの名称		サービスの内容
アウトソーシングサービス	Full Service	オンラインのアンケート画面作成、アンケート案内配信、アンケートデータの回収、クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供するサービスです。「MO Insights byGMO」(*1)はここに含まれます。また、アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービス(CPAT)も提供しています。
	Sample Supply	顧客が自社内でオンラインのアンケート画面を作成している場合に、当社グループが回収管理(プロジェクトマネジメント)を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供するサービスです。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)	インターネットリサーチにおいて、当社グループがサービスインフラとパネルのみを提供するサービスです。「MO Lite アンケート byGMO」(*2)及び「MO Lite インタビュー byGMO」(*3)が含まれます。
	システム関連売上(*4)	当社グループのリサーチソリューションプラットフォームであるGMO Market Observer(*5)を、顧客のリサーチプラットフォームとして提供するサービスです。
その他サービス	コンベンショナル調査など	コンベンショナル調査は、オフライン(現場)で実施する調査手法です。

*1 MO Insights byGMO

消費者への定量・定性調査をオンラインで完結できるクラウドソリューションです。

*2 MO Lite アンケート byGMO

顧客が利用するDIY型(セルフ型)アンケートツールから、国内・アジア最大級の調査用パネルへのアンケート調査ができるサービスです。

*3 MO Lite インタビュー byGMO

国内・アジア最大級の調査用パネルへのインタビューができる、パッケージ型のオンラインインタビューサービスです。

*4 システム関連売上

D.I.Yサービスのシステム関連売上は、当社グループはシステムのみを提供するビジネスモデルです。

*5 GMO Market Observer

当社グループが開発・提供しているインターネット上でリサーチ業務のすべてを完結できるリサーチソリューションプラットフォームの総称であり、「Market Observer」は当社の登録商標です(登録番号5671869号)。

Appendix | アウトソーシング/D.I.Y.サービス

		アウトソーシングサービス		D.I.Y.サービス	
サービス名称 業務工程		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客
2. 調査画面作成	GMO Research	顧客	顧客	顧客	
3. プロジェクト マネジメント	GMO Research	顧客	顧客	顧客	
4. パネル管理	GMO Research	顧客	顧客	顧客	
5. Cloud Panel利用	GMO Research	顧客	顧客	顧客	

(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

Appendix | パネルネットワーク

- アジア16の国と地域で4,890万人超の業界最大規模のパネルネットワークを構築
- 大型・複数ヶ国にまたがる案件に対応可能であり、競争力、提案力が高くなる
- 競争力の源泉であるアジアクラウドパネルを質量ともにさらに充実させることで、アジアの調査対応地域の深耕とエリアの拡大を進めます。

 infoQ GMO <https://infoq.jp/>

 日本
23,946,000

 中国大陸
17,209,000

 infoQ GMO <https://infoq.vn/>

 ベトナム
927,000

 韓国
756,000

 Z.com Research <https://knowledgeprovider.z.com/>

 インド
778,000

 香港
32,000

 Z.com Research GMO-Z.com ACE Co., Ltd. <https://mm.zresearch.asia/>

 ミャンマー
26,000

 台湾
921,000

 Z.com Research Net Design <https://research.z.com/th/>

 タイ
820,000

 インドネシア
1,652,000

 Z.com Research <https://sg.research.z.com/>


 シンガポール
49,000

 アラブ首長連邦
500

 フィリピン
364,000

 オーストラリア
104,000

 マレーシア
1,307,000

 ニューージーランド
15,000

アジア **16** ヶ国
4,890 万人

(2023年7月現在)

Appendix | 各拠点人員数推移

(単位：人)

各拠点における正社員数の推移

	東京	下関その他	シンガポール	マレーシア	インド	中国	米国	合計
拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> 本社機能 国内欧米営業、PJ管理 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国内PJ管理、国内営業・営業補助 国内パネル管理 システム開発 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア営業 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 アジアパネル管理、開拓 	<ul style="list-style-type: none"> 欧米/東南アジアPJ管理、営業補助 ローカル営業 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 中国パネル管理 	<ul style="list-style-type: none"> ローカル営業 PJ管理 	
2019年1月1日時点	86	18	3	4	14	8	-	133
2019年7月1日時点	94	18	3	5	14	8	-	142
2020年1月1日時点	94	22	3	6	14	8	-	147
2020年7月1日時点	97	24	3	6	14	5	-	149
2021年1月1日時点	102	27	3	6	15	4	-	157
2021年7月1日時点	106	26	3	9	16	6	-	166
2022年1月1日時点	108	28	3	9	17	6	-	171
2022年7月1日時点	112	29	2	12	16	7	3	181
2023年1月1日時点	112	33	2	14	20	7	3	191
2023年7月1日時点	109	37	3	16	22	7	3	197
半期人員増減数	-3	+4	+1	+2	+2	±0	±0	+6
補足	下関/海外拠点への異動	オペレーション、営業強化	-	営業、パネル開拓強化	オペレーション強化	-	-	-
2024年1月1日予定	108	36	3	16	23	7	4	197

想いを、世界に — GMOリサーチ

GMO RESEARCH

Engaging people around the world

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。
従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。